

平成 26 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 1 回研修調整部会 議事概要

日 時	平成 26 年 7 月 17 日 (木) 18 時 00 分～19 時 25 分
場 所	滋賀医科大学医学部附属病院 D 病棟 1 階 多目的室
出席者	滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長: 村田副病院長、多川看護臨床教育センター准教授)、大津赤十字病院 (副部会長: 山中第一呼吸器科部長、北川看護副部長(代理: 徳谷))、滋賀県立成人病センター (副部会長: 財間副院長、吉田看護部副部長、嶋田主査)、公立甲賀病院 (山崎放射線科部長)、彦根市立病院 (吉川診療局主任部長、木下外来科長補佐)、市立長浜病院 (田久保呼吸器外科責任部長、山岸看護局係長)、大津市民病院 (高見総合内科部長)、済生会滋賀県病院 (馬場病理診断科部長)、近江八幡市立総合医療センター (迫副院長、(随行者: 嶋田))、高島市民病院 (武田診療部外科科長、澤井外来診療看護師長(代理: 前川))、滋賀県医師会 (大西理事)、滋賀県歯科医師会 (尾松常務理事)、滋賀県薬剤師会 (瀧川介護福祉委員会委員)、滋賀県看護協会 (宮本常務理事兼教育部長)、滋賀県放射線技師会 (平田常務理事)、滋賀県臨床検査技師会 (岩井副会長)、滋賀県歯科衛生士会 (玉井理事)、滋賀県栄養士会 (岩川副部長)、滋賀県健康医療福祉部 (要石健康医療課がん・疾病対策室室長補佐(代理: 奥井))、 【部会事務局】滋賀医科大学医療サービス課 (小林課長、浅井課長補佐)
欠席者	公立甲賀病院 (中村看護部看護師長)、草津総合病院 (森谷頭頸部甲状腺外科センター長)、長浜赤十字病院 (中村医療社会事業部長)、東近江総合医療センター (辻川副院長)

1. 報 告

新部会員として、部会長を含む 5 名が交替により、又新たに 2 機関から 3 名の方々に参加いただいたことの報告があり、各人から挨拶があった。

2. 議 題

(1) 平成 26 年度の取組について

①アクションプランシートの確認

企画運営委員会に提出するために決定していただいている滋賀県がん診療連携協議会研修調整部会アクションプランシートの内容を確認した。

②がん関係フォーラム、講演会等開催予定について

開催地域、分野ごとの講演会、研修会等の過不足を検討し今後の方向を見出していくために、開催医療圏別、対象者別、内容別に 6 月末現在でとりまとめた表をもとに議論した。

・開催実績、予定数から見ると、東近江医療圏と湖西医療圏における開催が少ないので努力が必要である。

・高島市民病院は、今回から参加していただいたので、出していただけていない情報を調べていただき提出していただくこととした。

- ・東近江医療圏においては、現在、計画段階の催しがあると聞いており近々案内できる予定である。
- ・おりがみ教室等については、関わりを通じて相談等をしていく内容で、講演会とまではいかないが、広い意味での研修活動として載せていただいている。
- ・参加者数の少ない内容の講演会についても検討していく必要がある。
- ・滋賀県がん対策推進計画において、患者・家族の生活と治療を両立するとして、「地域職場の教育普及啓発」、「小児がん患者、家族の支援」、「就学、就労等社会的問題」を掲げているので、今後これらの領域も取り入れていただきたい。
- ・学校の教員等も参加できるように工夫していくことも必要と考える。
- ・講演会、研修会等の参加人数を把握して報告していただくこととしているが、報告時期は、年3回開催を計画している研修調整部会の開催案内時に照会させていただき報告していただくこととした。

③看護作業部会が中心となっていくがん看護研修の実施について

25年度から各医療圏において、同じ研修科目でがん看護研修プログラムⅠとして開始した。

各医療圏における研修科目ごとの受講者数、全科目受講者数（135名）、全科目受講者に対するアンケート結果について説明があった。（アンケート回収数74通、回収率54.8%）

全科目受講者を対象に今年度秋からプログラムⅡ（実習）を実施することにしており、募集要項（案）の説明があった。受講者の選考は、募集定員が13名程度と少ないため、認定、専門看護師が配置されている拠点病院、支援病院以外の機関を優先していこうと考えている。

プログラムⅡ修了者には、協議会から修了証を交付することになっており、さらに、受講修了者と認識できるためのバッジを交付する方向で検討することとした。

（2）各団体の26年度の実行予定

（滋賀県医師会）

日本医学会総会イベントでどう企画するか。

26年度の実行予定は、がん医療を積極的に学ぶことができる医師向け学術講演会等の開催、がん登録事業の実施等がある。

（滋賀県歯科医師会）

口腔がん検診について、秋に一般市民等に対する啓発事業としてフォーラム等を予定している。

歯科医師に対する検診研修を地域の歯科医師会主催で定期的に行っている。

医科との連携で口腔ケアの研修を進めていく。

（滋賀県薬剤師会）

滋賀県薬剤師会在宅ホスピス認定薬剤師のフォローアップ研修会を実施する。（現在、約60名を認定（1期・2期）、今回第3期は約30名が希望）今後の活動の場を広めるために検討をしている。

(滋賀県看護協会)

今年度は、研修センター事業としては、インターネット配信研修で、がん患者・家族の認識のケアと看取りをテーマとして11月に予定している。

看護職は様々な研修会があるのでそちらのバックアップをしていく。

24年度、25年度とエンドオブライフケア研修を実施して、研修結果を実践の場でどう活用できているか、今年度はその辺の評価をきっちりさせていただき、来年度以降どうするかということを含めて検討、評価の年にしたい

(滋賀県放射線技師会)

今年は、がんという名前を付けた研修会を開催していく。

既に6月に「婦人科がん」を実施し、来年1月には市民公開講座「血液がん」を開催することになっている

放射線技師向けではあるが、CTの研究会、MRの研究会で、胸部がんの研修会を行うことになっている。

今後は、放射線治療についての研修会を検討していく。

(滋賀県歯科衛生士会)

衛生士会としては、まだ、公開講座を開催できる状況ではないので、会員の中で勉強をするという形で、外科の先生に講師に来ていただき研修会の開催を決めている。

その他としては、前年度と同様に各種研修会等へ参加して勉強していきたいと考えている。

(滋賀県臨床検査技師会)

がん患者、一般市民、医療従事者全般向けに2回の公開講座を予定しており、肺年齢、血管年齢の測定をして参加者の意識を高めようと計画している。

各市町村で実施される健康フェスティバルに進んで参加して、がんに関する啓発活動をし、いろいろなことを実体験していただくよう計画している。

細胞検査士、これから細胞検査士を目指す方等向けに子宮がん部会とタイアップして、講演とワークショップを実際の標本を見ながらディスカッションしていくことを計画している。

(滋賀県栄養士会)

本年から参加させていただいたので、他団体に比べ立ち遅れている部分があると感じているが、やはり最後まで食べるたいというQOLの部分と、ケモとかの副作用で食べれない方にも食事の支援とかの現状を調査して、ニーズをピックアップして、少しでもお役にたてるよう検討していきたいと考えている。

(3) PDCAサイクルの指標について

平成25年度から部会ごとに作成、活用しているアクションプランシートは今後も活用していくこととされているが、数値化できるPDCAサイクルの評価指標を少なくとも1つは使用することとされており、9月開催予定の企画運営委員会で各部会から数値化できる目標を定めて最低1つ以上報告することになっている。

研修調整部会として数値化できる目標として考えられるのは、研修会等の開催回数、出席者数、参加者にアンケートを取って満足度とかのデータを取って把握することになると思える。

アンケート様式を統一することで情報共有が図れるし、その中で自由意見欄、年齢枠欄等を作っていけばそれらについても共有が図れることも考えられる。

次回の企画運営委員会(9月から10月)に研修調整部会の目標を報告するためには、それまでに部会を開催して決定する必要があるが、日程都合等により、それまでに開催できない場合は、部会長が考えた目標をメールでお聞きして決定することとしたい。

(4) その他

- ・県から、「滋賀県がん対策の推進に関する条例」に基づき創設したがん対策推進基金を活用する補助事業を検討しており、27年度以降の補助対象事業の参考としたため、関係機関の意見をFAX、メール等で、7月31日までにお寄せいただいたとの依頼があった。

- ・次回の本部会開催日はあらためて調整することとした。

以上